

表現運動・ダンス学習における “宮崎らしさ”の一考察

藤 川 秋 子

Expressive Movement—A Study of “the Characteristics of Miyazaki” as seen in Learning to Dance

Akiko FUJIKAWA

1. はじめに

本研究は、平成13年度に宮崎県で開催される全国学校体育研究大会の発表（“宮崎らしい”表現運動・ダンス）に繋ぐことを目的に、科学研究費補助金を得て実施した基盤研究「表現・ダンス領域における学習材としての郷土芸能の可能性を探る」（平成9・10年度¹⁾）及び「続・表現運動・ダンス領域における学習材としての郷土芸能の可能性を探る（平成11・12年度）の一環として行うものである。すでにこれまでの研究では、郷土芸能を題材とした表現・創作ダンスが、従来の郷土芸能（民踊）をまるごと学習するスタイル以上に宮崎らしい表現を引き出し、学習者の郷土芸能に対する興味や関心を高めることを明らかにした。ただし、創作の結果である作品の“宮崎らしさ”については、題材に取り上げた芸能の保存会や伝承者からの評価が最も高く、次いでその芸能を有する地域（あるいは地区）、県内、県外の順に低くなる傾向が認められた。このことは、表現の地域性は表現の受けてのその地域に対する知識や認識に多分に左右されることが推測される。ここでは、改めて宮崎のこどもだからこそできる宮崎らしい表現に繋がる“宮崎らしさ”を引き出す題材について、表現の受けてに焦点をあてて探ることにした。

2. 目的

表現運動やダンス領域において、宮崎県内の子どもたちの持っている宮崎らしい題材やそのイメージを知ることを目的に、まず宮崎に相応しい題材の意識調査を行った。さらに宮崎の子どもたちの発表作品の鑑賞・評価から、その実際をみようとした。

3. 方法

1) 宮崎女子短期大学の学生（207名）を対象に、体育実技（ダンス）の中で質問紙によるアンケートを行い、松本氏のダンスイメージ分類基準を参考に、①自然現象（自然、植物、動物）②生活事象（遊び・スポーツ、人と生活、物質）③思想・感情の3項目について、それぞれ宮崎らしい

と考えているものを記述させた。加えて各自がとくに強く感じている“宮崎らしさ”とは何かについても自由に記述させた。(表.1)

2) 1996年から2000年の「ムーブメント・アート・イン・みやざき」での宮崎県内の保育園・幼稚園・小学校・高等学校・大学のそれぞれの作品の録画を鑑賞し、下記の項目①～③について評価を行った。評価した作品は、幼稚園－なつ(3・4・5歳, 1998), 保育園－ぼくたちの未来(4・5歳, 2000), 獅子舞(4・5歳, 1999), 小学校－祭りだ! ワッショイ!(4年, 1998), 風といっしょにどこまでも(5年, 2000), 三極の山に龍が立つ(1～6年, 1999), 三極の美しき大自然～山・川・せんだん～(1～6年, 2000), わたしたちの学校(1～6年, 1998), 中学校－樹の生命をスカイダイビング(2年, 2000), 鳥たちの旅・モーニングバード嵐の中へ(1年, 2000), 高等学校－夜明け～Ground Best～(1～3年及び小学生4・5年, 2000), 私たちも空をとびたい(1・2年, 1996), 大学－高千穂の峰に龍が発つ(2・3年, 1996), 千年ぐらいは舞ってみようか～高千穂夜神楽より～(学生, 1998), 友だちは緑のにおい(2～4年及び大学院生・研究生, 2000)の15作品であった。

① 舞踊構造からみた評価(図.1, 図.2)

中間氏によって分類された舞踊構成の基準²⁾(極限性・多様性・連続性・表現性－個性)を、評価の視点とし、各項目内容については下記(ア)～(エ)の通りとした。

(ア) 極限性…身体の知覚, 運動技術の習得

(イ) 多様性…自己実現, 独自性, 新鮮さ

(ウ) 連続性…急変性, 流動性, 起伏性

(エ) 表現性－個性…運動の質, 表現手法のまとめ方

5段階評価	1	かなり劣る
	2	あまりよくないでき
	3	平均的なできばえ
	4	すぐれたできばえ
	5	非常にすぐれたできばえ

② 舞踊作品構成要因別評価(表.3)

評価の視点	• 舞踊イメージの明確さ(取らえ方)
	• イメージと動きの関連(表わし方)
	• 動きの展開・構成(まとめ方)
	• 表現と効果(工夫された動きがみられたか)
	• 音・ことば・音楽(伴奏の工夫)
	• 衣裳・道具

以上6項目についての評価は, ○, △, ×を用い, ○は努力・工夫のあとがみられる, △は足りない, ×は全くできていないとして評価させた。○－2点, △－1点, ×－0点と点数化し重みづけをした。

③ 「運動の質と感情価」からの評価(表4)

松本氏による「舞踊の構造・機能と要素化(Ⅲ)－運動の質と感情価－³⁾」の中の下記のCheck List 1, Check List 2を用いて学生に分析させ, 更に, その結果から, 松本氏考案による舞踊運動の7種のMotives (Mv)を各作品に当てはめて動きの要素を見直し, 各作品のイメージと運動の質を明らかにした。

表1 宮崎らしい題材

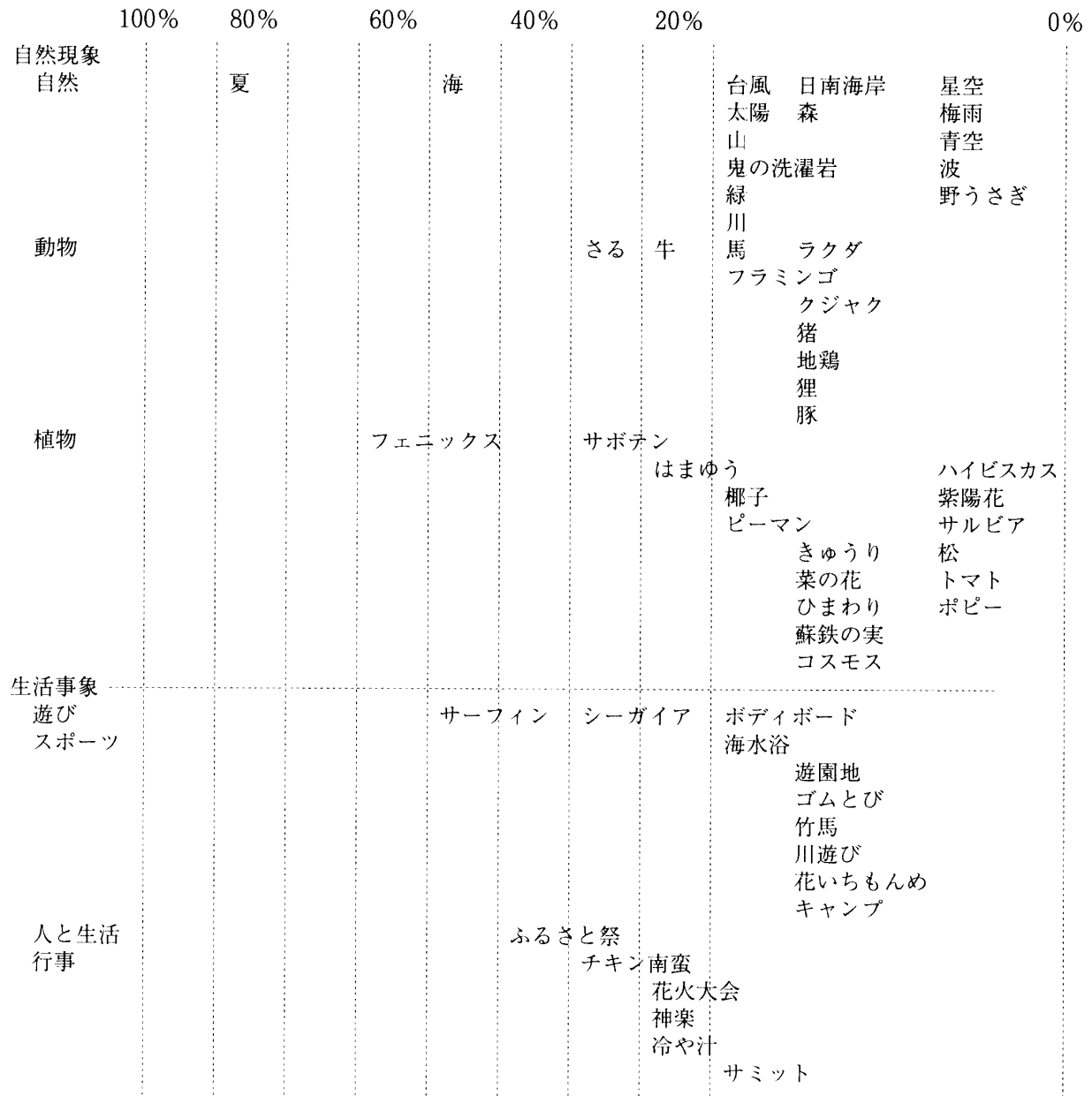
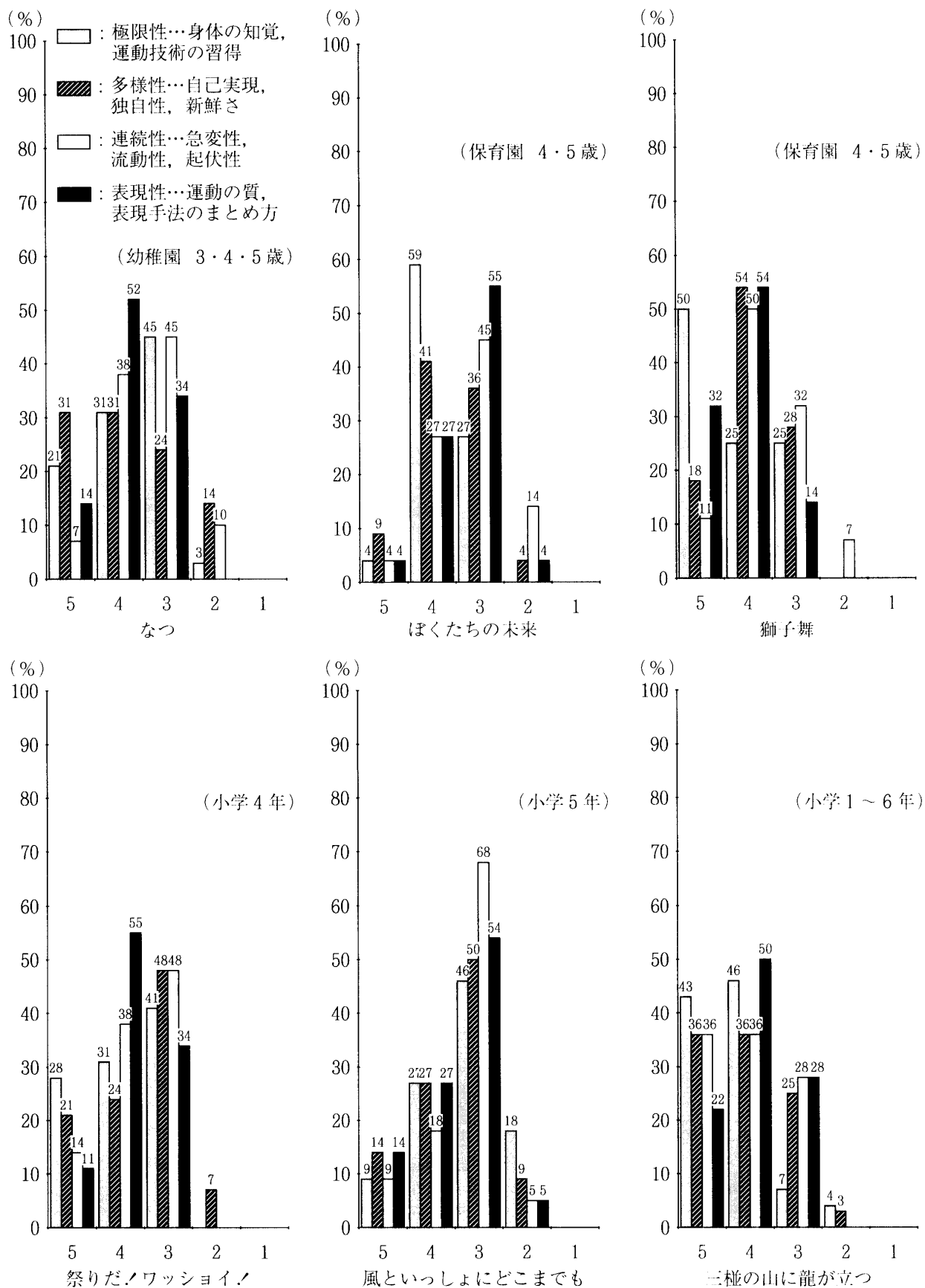


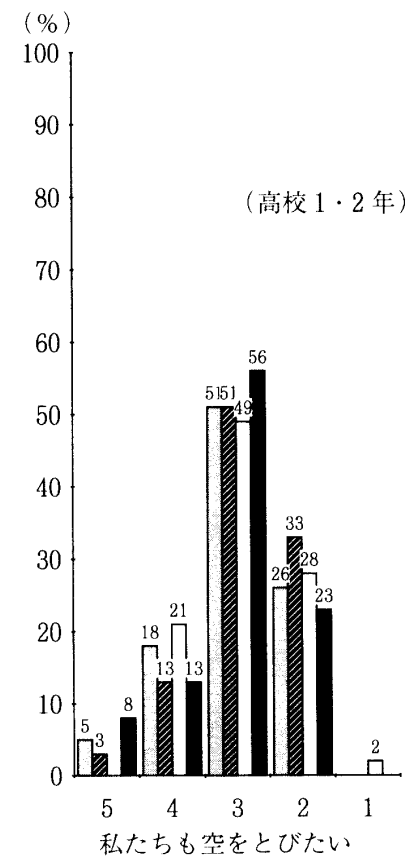
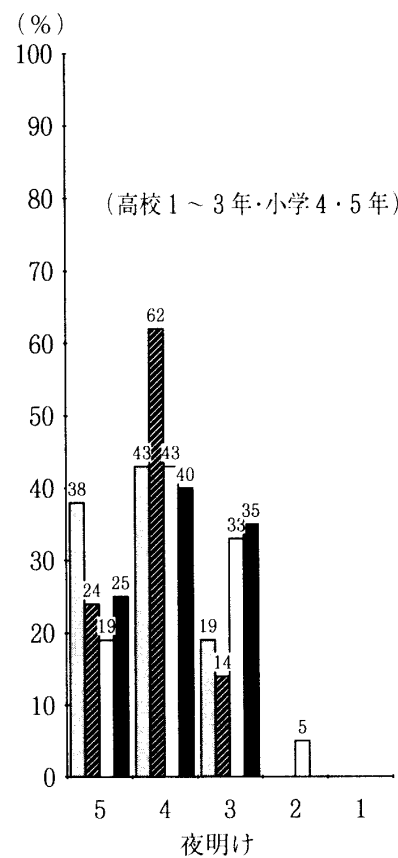
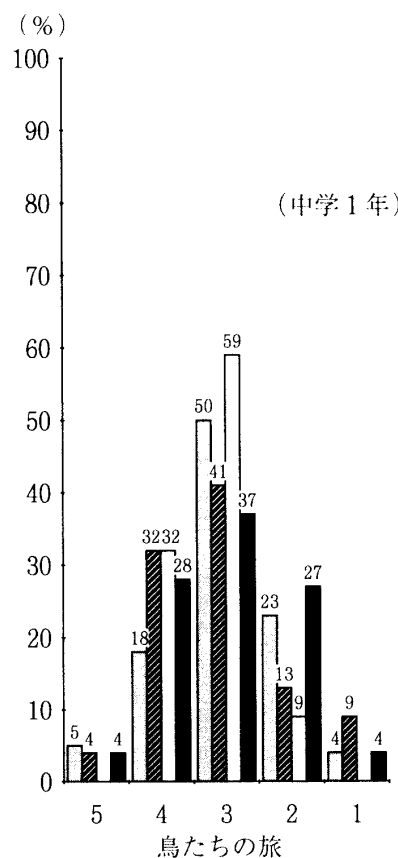
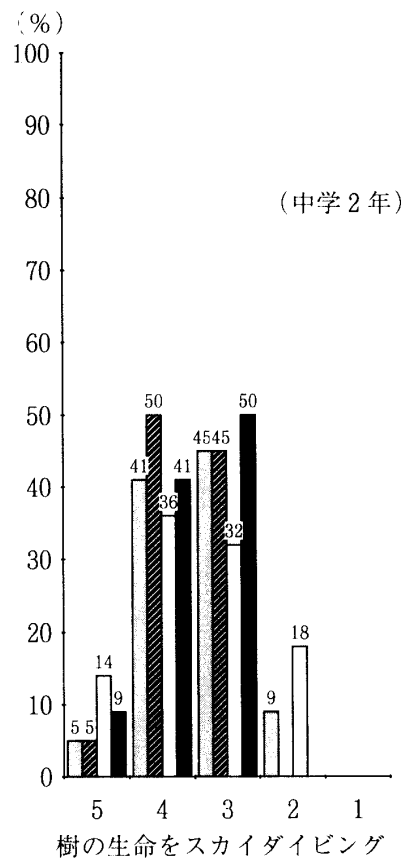
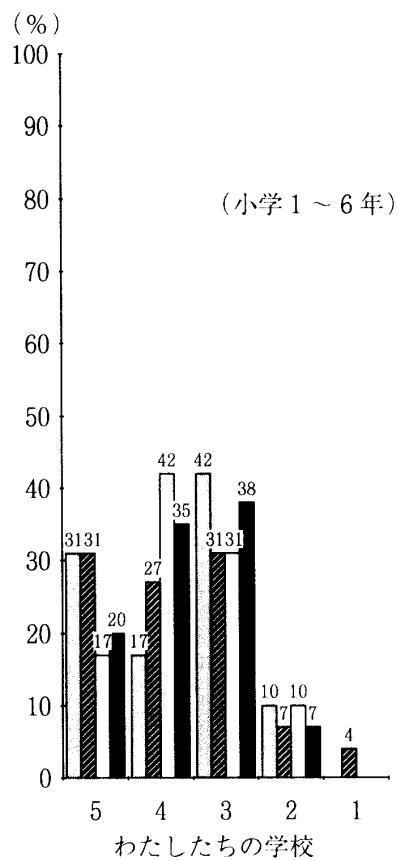
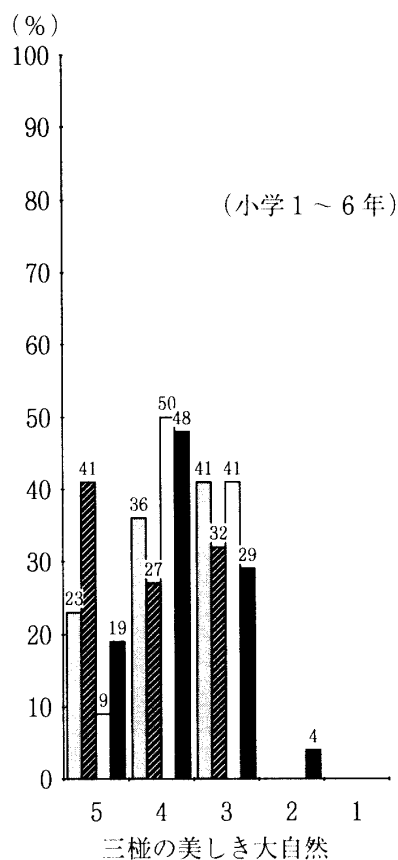
表2 宮崎らしい動きのイメージ

県内出身者	県外出身者
1. のんびり (67)	1. のんびり (8)
2. 明るく元気 (11)	2. 暑い (5)
3. マイペース (6)	3. ゆったり (4)
4. 暑い (6)	4. 自然が多い (3)
5. ひよっとこのような (5)	5. 明るく元気 (2)
6. ぎらぎら (4)	6. 伝統を守る (2)
7. のほほーん (4)	7. 交通が不便 (1)
8. 伸び伸び (4)	8. からっとしていない暑さ (1)
9. 田舎のイメージ (4)	9. 空の大きさ (1)
10. 信じやすい (2)	10. 海の水平線の見える広さ (1)

()内は人数を示す

図1 舞踊構造からみた評価





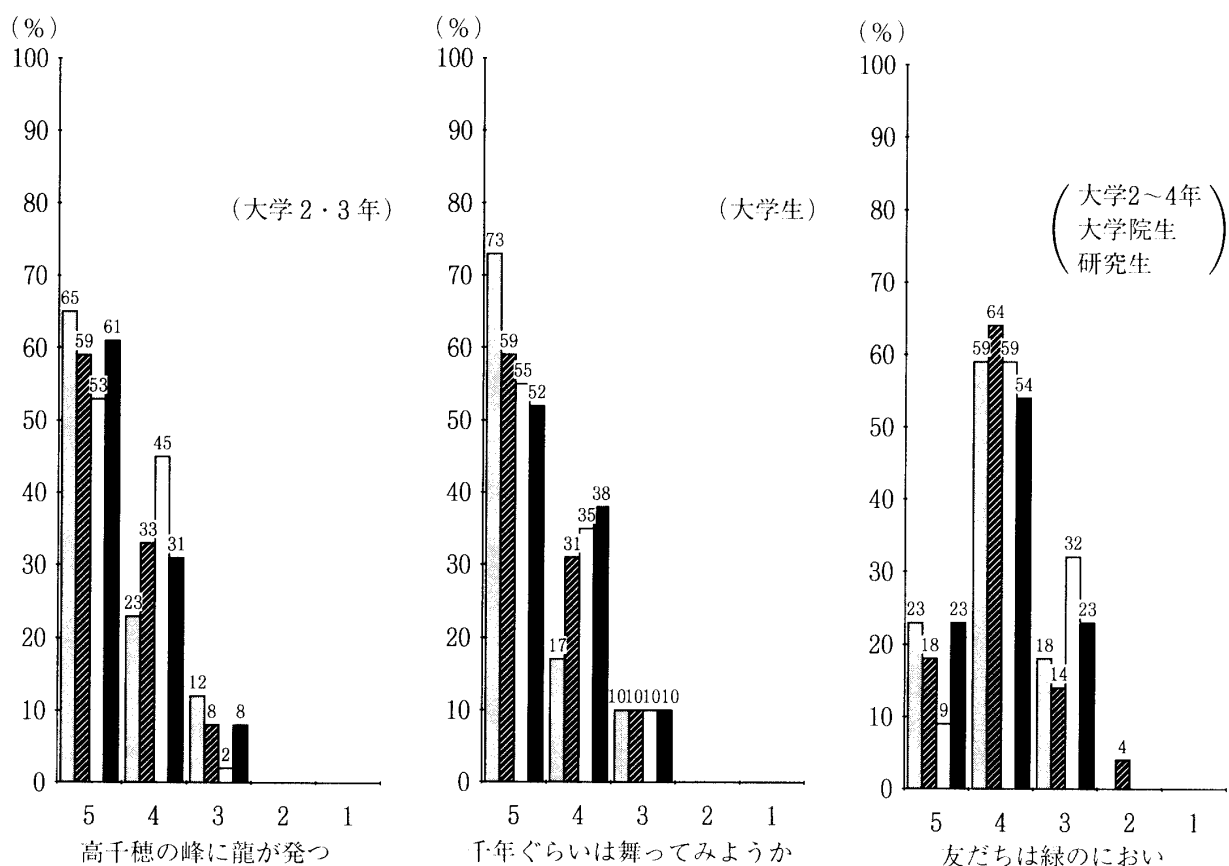


図2 舞踊構造からみた評価

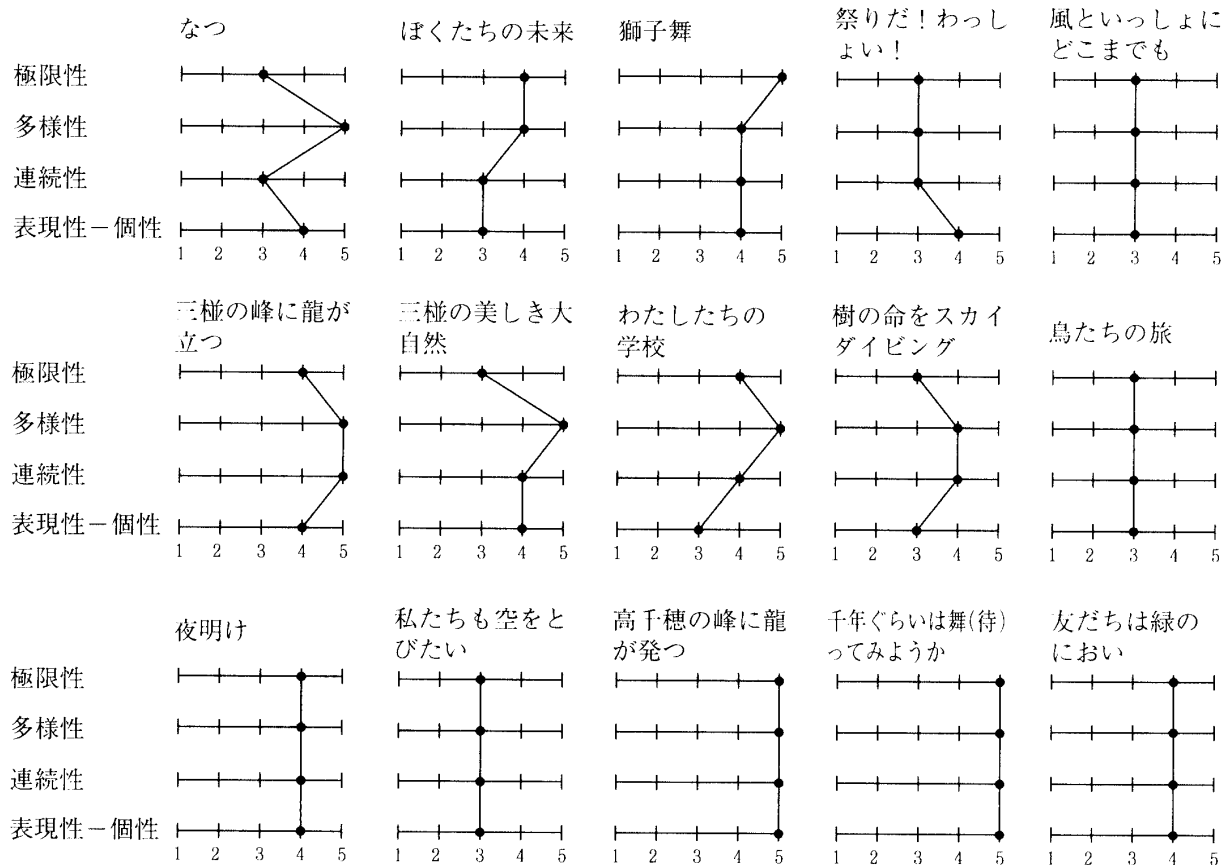


表3 舞踊作品構成要因別評価

作品	舞踊作品構成要因 舞踊イメージの明確さ	イメージと動きの関連	動きの展開・構成	表現と効果	音・言葉・音楽	衣裳・道具
なつ	4	2	3	6	1	5
ぼくたちの未来	1	2	5	3	3	6
獅子舞	2	1	4	3	6	4
祭だ！ワッショイ！	2	4	3	6	1	5
風といっしょにどこまでも	2	1	6	3	5	3
三極の山に龍が立つ	3	3	3	1	2	6
三極の美しき大自然	1	4	1	4	1	4
わたしたちの学校	4	1	1	5	3	6
樹の生命をスカイダイビング	4	1	4	3	2	6
鳥たちの旅	4	1	1	5	3	6
夜明け	4	1	5	1	1	6
私たちも空をとびたい	2	1	2	5	4	6
高千穂の峰に龍が発つ	1	2	3	4	5	6
千年ぐらいは舞ってみようか	3	6	5	3	2	1
友だちは緑のにおい	3	4	2	1	6	4

(数字は順位を示す)

表4 「運動の質と感情価」－チェックリスト1・2による評価－

作 品 名	感 情 語	運 動 の 質
なつ	楽しい, 明るい	㊦ゆっくりした ㊦なめらかな
ぼくたちの未来	明るい, 楽しい, 軽快な	㊤バランスのとれた ㊤軽い
獅子舞	楽しい, 躍動的な, 勇壮な	㊦スピードのある ㊦アクセントのある ㊤強い ㊦急変的な
祭だ！ワッショイ！	楽しい, 明るい, 賑やかな	㊦アクセントのある ㊤強い ㊦持続的な
風といっしょにどこまでも	軽快な, 明るい, 楽しい, 生命感のあふれた	㊦ゆっくりした ㊦なめらかな ㊦規則正しい ㊤軽い
三極の山に龍が立つ	迫力のある, 勇壮な	㊦スピードのある ㊤強い ㊦急変的な
三極の美しき大自然	ユーモアのある, 生命感のあふれた	㊦急変的な ㊦ゆっくりした ㊤アンバランスな
わたしたちの学校	日常的な, 楽しい, 明るい	㊦スピードのある ㊦アクセントのある ㊤バランスのとれた ㊤強い
樹の生命をスカイダイビング	流れるような, 生命感のあふれた	㊦ゆっくりした ㊦なめらかな
鳥たちの旅	生命感のあふれた, 軽快な, 流れるような	㊤バランスのとれた
夜明け	自然な, 流れるような, 生命感のあふれた	㊤バランスのとれた ㊦ゆっくりとした ㊦なめらかな
私たちも空をとびたい	流れるような, 軽快な, 躍動的な	㊦なめらかな ㊤軽い ㊤バランスのとれた ㊦持続的な
高千穂の峰に龍が発つ	威厳のある, 迫力のある, 生命感のあふれた	㊦スピードのある ㊦アクセントのある ㊤強い
千年ぐらいは舞ってみようか	迫力のある, 勇壮な, 神聖な	㊦スピードのある ㊦アクセントのある ㊤バランスのとれた ㊤強い
友だちは緑のにおい	流れるような, 暗い, 躍動的な	㊦スピードのある ㊦アクセントのある ㊤バランスのとれた ㊤強い

注 ㊦…時性 (Time) ㊤…空間性 (Design) ㊤…力性 (Energy)

資料

Check List 1

1 スピードのある	7 強い	13 曲線的な
2 アクセントのある	8 重い	14 縮小的な
3 不規則な（不均等な刻みの）	9 急変的な	15 アンバランスな
4 直線的な	10 ゆっくりした	16 弱い
5 拡大的な	11 なめらかな	17 軽い
6 バランスのとれた	12 規則正しい（均等な刻みの）	18 持続的な

Check List 2

1 軽快な	15 重厚な	29 寂しい
2 明るい	16 かたい	30 弱々しい
3 楽しい	17 冷たい	31 自然な
4 やわらかい	18 機械的な	32 落ち着いた
5 やさしい	19 躍動的な	33 単純な
6 流れるような	20 迫力のある	34 厳かな
7 悲しい	21 大きな	35 神聖な
8 暗い	22 賑やかな	36 深い
9 粘った	23 興奮的な（苦しい）	37 鋭い
10 さりげない	24 ユーモアのある	38 威嚇的な
11 日常的な	25 優美な	39 攻撃的な
12 普通の	26 華麗な	40 歓喜の
13 安定した	27 暖かい	41 勇壮な
14 威厳のある	28 静かな	42 生命感のあふれた

4. 結果と考察

〈題材については〉

- 1) 県内・県外出身者が共通に感じている宮崎らしさでは、自然現象は自然の「夏」「海」、植物の「フェニックス」や「サボテン」、動物の「(幸島の) さる」「(宮崎) 牛」などが、生活事象は遊び・スポーツの「サーフィン」「シーガイア」や人と生活の「ふるさと祭」「チキン南蛮」「花火大会」「神楽」などが多く、物質や思想・感情については宮崎らしさを挙げた回答は少なかった。
 - 2) 県内出身者が多く感じている宮崎らしさでは、予想に反して、県外出身者と比較して大きな差は見られなかった。しかし自由記述からは、「マイペース」「のろま」「ひょっとこのような」「のほほんとした」「せかせかしていない」といった県民性や「ガラガラした（太陽）」といったものが抽出された。
 - 3) 県外出身者が多く感じている宮崎らしさでは、同様に自由記述からは、「暑い」「からっとしていない暑さ」といったものや、「森林の多さ」「空の大きさ」「水平線の長さ」「不便な交通」、さらに「伝統を守る」などが抽出された。
- 1), 2), 3) のことから、県内出身者と県外出身者ともに大きな違いは見られず、出された宮崎らしさもまた観光パンフレットに頻繁に登場するようなごく一般的な宮崎らしさになっている。し

かし、自由記述からは、それぞれ抽出数は少ないながら、両者の感じている宮崎らしさに違いが見られた。特に、県外出身者の挙げた宮崎らしさは、子どもの頃から当たり前に過ごしてきた県内出身者にとっては、こんなものが県外出身者には宮崎らしいのかと思うようなものであり、見過ごしてきた宮崎らしさ、余りに当然で気づかなかった宮崎らしさであると言える。これらの県外出身者の感じた宮崎らしさは、宮崎市広報などに寄せられる県外に出て活躍する県内出身者が指摘する宮崎の良さと類似しており、他県と比較して初めてわかる宮崎らしさとも言えるものであった。

〈発表作品から〉

- 1) 作品の舞踊構造から見た評価では、極限性、多様性、連続性、表現性－個性ともに高い評価であった。これは、積極的に上演活動を行うという学生・生徒の主体的な学習を進めており、「進んだ段階」のグループ創作のためであると思われる。時間を掛け合わせ工夫し努力した結果であると思われる。
- 2) 舞踊構成要因別評価では、上位に「舞踊イメージの明確さ」、「イメージと動きの関連」があげられ、「衣裳・道具」は下位であった。
- 3) 運動の質と感情価では、運動の質でいうと、スピードのある、アクセントのある、強い、バランスのとれた、が多く作品に見られた。次いで、なめらか、ゆっくりしたであった。感情価では、明るい、楽しい、軽快な、躍動的な、生命感のあふれた、強い、ユーモアのある、が多く作品に見られた。このことは、学生のアンケート調査であげられた宮崎らしい動きのイメージ（宮崎らしさ）とも共通するものであった。ここではどの作品も宮崎らしさを意図せずに自由に創られていたにもかかわらず、鑑賞者は、楽しい、躍動的な、ユーモアのあるなど、明るい志向のイメージを子どもたちの作品から“宮崎らしさ”として評価したものと考えられる。

5. まとめ

今回は“宮崎らしさ”についてアンケートによる意識調査と発表作品評価が主であったが、地域に育つダンス学習を目指して、今後も追及し確かなものにしていきたい。今回の研究で、宮崎らしさを改めて自身も再認する機会となった。表現の地域性の研究としてはほんの手掛かりを得た段階ではあるが、まずは今回の結果を今年度の授業に生かし、「森林の多さ」や「空の大きさ」「水平線の長さ」「不便な交通」などを題材にした作品づくりに取り組んでいきたい。

参考文献

- (1) 「表現運動・ダンス領域における学習材としての郷土芸能の可能性を探る」高橋るみ子他、平成9年度～平成10年度科学研究費補助金（基盤研究(C)(1)）研究成果報告書、1999.3
- (2) 「現運動の授業研究－課題学習と年間計画－」中間千恵子、松本千代栄、日本体育学会研究紀要、1984.10
- (3) 「舞踊の構造・機能と要素化Ⅲ－運動質と感情価－」松本千代栄、日本体育学会研究紀要、1984.10

(4) ダンスの教育学Ⅰ－ダンス教育の原論－「ダンス学習法－学習・指導論」松本千代栄

[2000年11月30日 受理]